

写真で見る「民族共生の象徴となる空間」整備予定地

☆ 整備地航空写真



「象徴空間」は、南に太平洋、北には山林、ポロト自然休養林の一角のポロト湖南岸に計画されている

★ ポロト湖の風景



鏡のような湖面とアイヌ民族博物館のコントラスト



丸木舟が浮かぶ湖

○ アイヌ民族博物館の賑わい



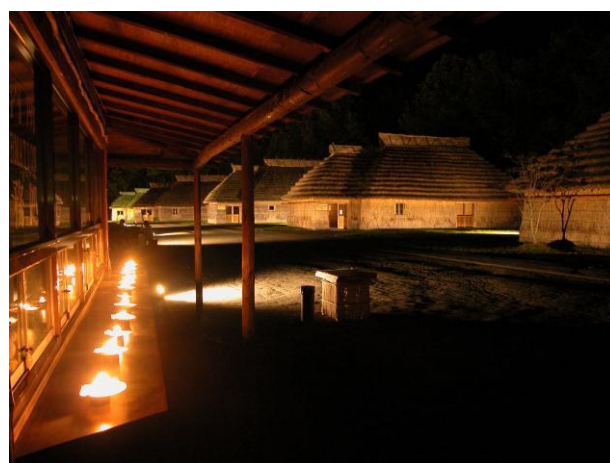
年間20万人の見学者を迎える博物館 最高入込客数は平成3年の87万人



毎時行われている博物館チセにおける公演



様々な古式舞踊を公演



ライトアップされた博物館とチセ群

◆ ポロト湖畔で行われている様々な伝承活動【アイヌ民族博物館編】



アイヌ民族博物館「春のコタンノミ」(4月)



同「シンヌラツパ (先祖供養)」と「チブカムイノミ (舟の送り儀礼)」[4月]



「シリカブ (カジキ類) の送り儀礼」と「シンヌラツパ (先祖供養)」[8月]



アイヌ民族博物館伝承課スタッフ

◆ ポロト湖畔で行われている様々な伝承活動【北海道アイヌ協会白老支部編】



自然の恵みに感謝する催し「しろおいチェブ祭」における「カムイノミ」(9月)



「シマチェブ(鮭の串焼き)」と伝統的漁法マレク(鉤)体験



毎年各地のアイヌ古式舞踊保存会が公演

◇ 近年の主な賓客



天皇陛下〔平成23年9月11日〕



菅内閣官房長官〔平成25年9月11日〕